



Beyond KUSS , 2023 !!



何のための夏期講習

文化祭、9回生にとっても記憶に残るものになったでしょうか。現在の後輩たち、そして未来の後輩たちにとって「あこがれの先輩」としての姿を示すことができたでしょうか。

文化祭も終わり、いよいよ受験に向けて本格的にスタートを切ろうと考えている人もいることでしょう。そして、塾に行こう、夏期講習を受講しようと考えている人もいることでしょう。夏期講習を受講する人、これから申し込もうとしている人、受講しない人、それぞれが、自分にとって最も必要な学習は何かを考えてください。

あたりまえのことですが、塾に行くから、夏期講習を受講したら、成績が上昇するわけではありません。同様に塾に行かないから、夏期講習を受講しないから、成績が上昇するわけでもありません。大切なことは、自分に必要な学習を理解し、それを実行することにあります。受験に関係する教科・科目、それぞれどのような学習が必要かを考えることが第一。そして必要な学習を行うための計画(教材、充当時間等)を考えます。そしてそれを実行し、必要に応じ修正を加えます。この繰り返しにより実力は高まります。

夏季休業期間、自分のペースで学習できる時間です。この時期に基礎・基本の定着に必要な学習ができる人とそうでない人では、秋・冬の学習に大きな差が出ます。夏期講習受講の有無ではなく、基礎・基本の定着に必要な学習にしっかり取り組みましょう。そのために、自身の不十分な点をしっかり把握し、その対策をとりましょう。毎年、夏季休業中の過ごし方を後悔する人がいます。先輩たちの後悔に学びましょう。

第2回進路希望調査

本日5月26日(木)、第2回進路希望調査を実施します。模試の合否判定対象には多くの大学を記入することができますが、本校の進路希望調査、対象は第1志望のみです。なぜでしょうか。

大学受験に対する見方・考え方はいろいろあります。これだけが正解というものはありません。本校の進路指導は、「第1志望」設定の支援、「第1志望」突破の支援を軸に進めています。各生徒の卒業後のステージとして最もふさわしい場所を「第1志望」と考えています。そのため、生徒が考えている大学・学部・学科とは異なる提示をすることもあります。それは困難に臆せず、課題を解決、受験を突破してほしいという考えからです。

「第1志望」、「第2志望」、「第3志望」と少しずつ受験難易差を意識させ、指導する方法もあります。しかし、これでは「第1志望」に合格することが重要ではなく、「第3志望」までのどこかに合格することが重要になります。課題を乗り越えていく意志、チャレンジ精神が重要な要素になりません。

大学受験は、社会の様々な課題に比べると、比較的解決しやすい課題です。その課題に純粹に向き合い、チャレンジ精神を発揮してもらうことを期待し、「第1志望」のみ調査しています。大学受験は自身にとって重要な成長の機会です。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS , 2023 !』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。

大学入学共通テスト模試・6月(マーク)模試(再々掲)

1 日程

5月26日(木) LHR時 受験カード記入(進路希望調査を兼ねる)

5月27日(金) 放課後にHR教室で実施

15:20-16:40 英語(リーディング) 80分、100点

16:45-17:15 英語(リスニング) 30分、100点

5月28日(土) 神戸大学深江キャンパスで実施 **集合時間 8時20分**

08:35-09:45 数学① 70分、100点 数学I・Aを解答

09:50-10:50 数学② 60分、100点 数学II・Bを解答

11:00-12:20 国語 80分、200点 漢文を解答

12:25-13:00 昼食〈12:55には着席完了のこと〉

13:00-14:00 人文・社会科学類型 理科基礎科目から2科目 60分、100点

自然・生命科学類型 地歴公民から1科目 60分、100点

14:10-16:10 人文・社会科学類型 地歴公民から2科目 120分、200点

自然・生命科学類型 理科4科目から2科目 120分、200点

2 諸連絡

(1) 共通テストを意識し、鉛筆(HB,F,H)、プラスチック製消しゴム、鉛筆削りを準備

(2) 昼食、飲み物、時計を準備。服装は感染拡大防止の観点及び過ごしやすいもの

(3) 深江キャンパス利用上の注意事項

① 使用許可された教室等以外の施設には入室してはいけません。

② 休憩スペースやトイレ等においても、換気、座席間隔確保、手洗い、手指消毒を徹底。

③ 発生したゴミは、すべて持ち帰りましょう。

3 共通テスト模試を有効に利用するために

(1) 「記号で解答するから、なんとかなるだろう」という考えの人は要注意。共通テストは、「大学に入学を志願する者の高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定することを主たる目的」とし、「大学教育の基礎力となる知識・技能や思考力、判断力、表現力等を問う」問題を作成しています。模試の問題作成もこれを前提としています。高得点のためには、基礎・基本の定着が最重要課題です。

(2) 自己採点と次への準備 共通テスト模試は自己採点できます。自己採点は、自分の現状を知るために行います。現状を理解し、次への準備を行います。問題冊子に解答を控える際、根拠をもち自信を持って解答したら「◎」、根拠を示すことはできないが自信のある解答は「○」、複数候補で悩んだ解答は「△」、とりあえず解答したら「□」のように区別します。どの記号でどれだけ得点できたか確認しましょう。「◎」は「理解正解」、「○」「△」は「不安正解」、「□」は「偶然正解」。「不安正解」の問題・分野を「理解正解」にすることが重要です。「偶然正解」は不得意・苦手分野、改善が必要です。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS, 2023!』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。